

(様式第 10)

兵 医 法 第 159 号
平成 27 年 10 月 5 日

厚 生 労 働 大 臣 殿

学校法人 兵庫医科大学
理事長 新家 莊平 (印)

兵庫医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 26 年度の業務
に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
氏 名	学校法人 兵庫医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には
法人の名称を記入すること。

2 名 称

兵庫医科大学病院

3 所在の場所

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号	電話(0798)45-6111
--------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度か つ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 循環器内科 2 呼吸器内科 3 消化器内科 4 血液内科 5 内分泌・代謝内科 6 糖尿病内科 7 神経内科 8 肝臓・胆のう・膵臓内科 9 腎臓・人工透析内科 10 リウマチ科 11 アレルギー科 12 腫瘍内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に
ついて記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記
入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で
医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 呼吸器外科 2 心臓血管外科 3 消化器外科 4 乳腺・内分泌外科 5 小児外科 6 形成外科 7 美容外科 8 頭頸部外科 9 ペインクリニック・疼痛緩和外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科 2小児科 3整形外科 4脳神経外科 5皮膚科 6泌尿器科 7産婦人科 8産科 9婦人科 10眼科 11耳鼻咽喉科 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 15麻酔科 16救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 臨床検査科 3 病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
44床	床	床	床	919床	963床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月1日現在)

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	635人	205人	665.9人	看護補助者	142人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	21人	11人	25.6人	理学療法士	30人	臨床検査技師	115人
薬剤師	83人	2人	83.6人	作業療法士	13人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	11人	その他	0人
助産師	39人	0人	39.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	961人	22人	974.3人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	0人	その他の技術員	23人
歯科衛生士	5人	0人	5.0人	歯科技工士	2人	事務職員	244人
管理栄養士	10人	0人	10.0人	診療放射線技師	55人	その他の職員	46人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月1日現在)

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	19人	眼科専門医	18人
外科専門医	58人	耳鼻咽喉科専門医	17人
精神科専門医	9人	放射線科専門医	4人
小児科専門医	18人	脳神経外科専門医	8人
皮膚科専門医	6人	整形外科専門医	19人
泌尿器科専門医	7人	麻酔科専門医	21人
産婦人科専門医	15人	救急科専門医	11人
		合計	230人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	768.2人	10.1人	778.3人
1日当たり平均外来患者数	1711.2人	68.7人	1779.9人
1日当たり平均調剤数			1167.6剤
必要医師数			182人
必要歯科医師数			6人
必要薬剤師数			26人
必要(准)看護師数			452人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	450.44m ²	鉄筋コンクリート (RC)	病床数	20床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 325.94m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	21床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 41.95m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	159.45m ²	鉄筋コンクリート (SRC)	(主な設備) 自動分析装置LABOSPECT008、 ディメンションRXL、Cobas8000			
細菌検査室	145.85m ²	鉄筋コンクリート (SRC)	(主な設備) Auto-Scan W/A、バクテアラート3D、 MGIT、Taqman			
病理検査室	155.92m ²	鉄筋コンクリート (SRC)	(主な設備) クリオスタット、連続迅速自動固定包埋装置			
病理解剖室	110.67m ²	鉄筋コンクリート (SRC)	(主な設備) 解剖台、サクラリサイクラー、エコプロセス			
研究室	12,911m ²	鉄筋コンクリート (SRC)	(主な設備) CO2インキュベーター、オートクレーブ、 オールインワン蛍光顕微鏡、 リアルタイムPCRシステム			
講義室	5,363m ²	鉄筋コンクリート (RC)	室数 11室		収容定員 1,261人	
図書室	1,365m ²	鉄筋コンクリート (RC)	室数 1室		蔵書数 174,000冊程度	

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	79.3%	逆紹介率	69.0%
算出根拠 A: 紹介患者の数			23,150人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			21,288人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,311人
D: 初診の患者の数			30,852人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 比較的小さな腎細胞がん(T1a)で腎部分切除(がんの部分だけを切り取り、腎臓を温存する手術)の対象となる患者に対して、da Vinci(ダ・ヴィンチ)サージカル システムを用いることでより低侵襲な手術を提供している。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	84人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	87人	・広範脊柱管狭窄症	65人
・重症筋無力症	154人	・原発性胆汁性肝硬変	49人
・全身性エリテマトーデス	367人	・重症急性膵炎	11人
・スモン	5人	・特発性大腿骨頭壊死症	48人
・再生不良性貧血	56人	・混合性結合組織病	62人
・サルコイドーシス	60人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	11人	・特発性間質性肺炎	4人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	289人	・網膜色素変性症	29人
・特発性血小板減少性紫斑病	94人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	44人	・肺動脈性肺高血圧症	3人
・潰瘍性大腸炎	1,554人	・神経線維腫症	7人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	15人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	54人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	1,003人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	33人	・脊髄性筋委縮症	4人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	203人	・球脊髄性筋委縮症	3人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	27人
・後縦靭帯骨化症	89人	・肥大型心筋症	8人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	28人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	16人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	60人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	24人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	104人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	新生児特定集中治療室退院調整加算1及び2
歯科外来診療環境体制加算	救急搬送患者地域連携紹介加算
歯科診療特別対応連携加算	呼吸ケアチーム加算
特定機能病院入院基本料	病棟薬剤業務実施加算
臨床研修病院入院診療加算	データ提出加算
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	救命救急入院料1
超急性期脳卒中加算	救命救急入院料4
妊産婦緊急搬送入院加算	特定集中治療室管理料1
診療録管理体制加算2	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
急性期看護補助体制加算(25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割以上))	総合周産期特定集中治療室管理料
看護職員夜間配置加算	新生児治療回復室入院医療管理料
看護補助加算2	小児入院医療管理料2
無菌治療室管理加算1	
緩和ケア診療加算	
精神病棟入院時医学管理加算	
精神科身体合併症管理加算	
精神科リエゾンチーム加算	
摂食障害入院医療管理加算	
がん診療連携拠点病院加算	
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算1	
感染防止対策加算1	
患者サポート体制充実加算	
ハイリスク妊娠管理加算	
ハイリスク分娩管理加算	
退院調整加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
高度難聴指導管理料	歯科技工加算
糖尿病合併症管理料	悪性黒色腫センチネルリンパ節加算
がん性疼痛緩和指導管理料	組織拡張器による再建手術 (乳房(再建手術)の場合に限る。)
がん患者指導管理料1	骨移植術(軟骨移植術を含む。) (自家培養軟骨移植術に限る。)
がん患者指導管理料2	腫瘍脊椎骨全摘術
がん患者指導管理料3	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 及び脳刺激装置交換術
外来緩和ケア管理料	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	羊膜移植術
糖尿病透析予防指導管理料	網膜付着組織を含む硝子体切除術 (眼内内視鏡を用いるもの)
外来リハビリテーション診療料	網膜再建術
外来放射線照射診療料	人工内耳植込術
ニコチン依存症管理料	植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
開放型病院共同指導料	乳がんセンチネルリンパ節加算1
地域連携診療計画管理料	乳がんセンチネルリンパ節加算2
がん治療連携計画策定料	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)
がん治療連携管理料	経皮的冠動脈形成術
認知症専門診断管理料	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) (高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるものに限る。)
肝炎インターフェロン治療計画料	経皮的冠動脈 ステント留置術
薬剤管理指導料	経皮的中隔心筋焼灼術
医薬品安全性情報等管理体制加算	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
医療機器安全管理料1	植込型心電図記録計移植術及び 植込型心電図記録計摘出術
医療機器安全管理料2	両心室ペースメーカー移植術 及び両心室ペースメーカー交換術
歯科治療総合医療管理料	植込型除細動器移植術及び 植込型除細動器交換術
持続血糖測定器加算	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び 両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
造血器腫瘍遺伝子検査	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)

H P V核酸検出	補助人工心臓
H P V核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	植込型補助人工心臓(拍動流型)
検体検査管理加算(IV)	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
遺伝カウンセリング加算	経皮的動脈遮断術
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	ダメージコントロール手術
植込型心電図検査	腹腔鏡下肝切除術
時間内歩行試験	生体部分肝移植術
ヘッドアップティルト試験	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
皮下連続式グルコース測定	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
長期継続頭蓋内脳波検査	同種死体腎移植術
神経学的検査	生体腎移植術
補聴器適合検査	膀胱水圧拡張術
コンタクトレンズ検査料1	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
小児食物アレルギー負荷検査	人工尿道括約筋植込・置換術
内服・点滴誘発試験	医科点数表第2章第10部手術の 通則5及び6に掲げる手術
センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	輸血管管理料 I
画像診断管理加算2	自己生体組織接着剤作成術
ポジトロン断層撮影	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	内視鏡手術用支援機器加算
CT撮影及びMRI撮影	歯周組織再生誘導手術
冠動脈C T撮影加算	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
外傷全身C T加算	麻酔管理料(I)
心臓M R I撮影加算	麻酔管理料(II)
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	放射線治療専任加算
外来化学療法加算 I	外来放射線治療加算
無菌製剤処理料	高エネルギー放射線治療
心大血管疾患リハビリテーション料(I)	1回線量増加加算
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	強度変調放射線治療(IMRT)
運動器リハビリテーション料(I)	画像誘導放射線治療(IGRT)
呼吸器リハビリテーション料(I)	体外照射呼吸性移動対策加算
がん患者リハビリテーション料	直線加速器による放射線治療

歯科口腔リハビリテーション料2	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
認知療法・認知行動療法1	保険医療機関間の連携による病理診断
精神科作業療法	テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
医療保護入院等診療料	テレパソロジーによる術中迅速細胞診
透析液水質確保加算2	病理診断管理加算2
一酸化窒素吸入療法	口腔病理診断管理加算2
CAD/CAM冠	クラウン・ブリッジ維持管理料

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
外科手術後癒着形成分子機構に基づく新規包括的癒着制御法の開発と探索医療の模索	藤元 治朗	肝・胆・膵外科	4,810,000	補委 日本学術振興会
Srcファミリーキナーゼの悪性腫瘍進展での役割の解析と治療への応用	藤盛 好啓	輸血・細胞治療科	1,690,000	補委 日本学術振興会
大動脈瘤の病理組織学的病態解明と新規治療の開発	羽尾 裕之	病院病理部	1,560,000	補委 日本学術振興会
心腎貧血連関ネットワークの解析と新規治療戦略の開発	増山 理	循環器内科	1,040,000	補委 日本学術振興会
肝癌由来増殖因子の血管新生と肝癌増殖における役割の検討	榎本 平之	肝・胆・膵内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
ヒト白血球抗原半合致移植の成立機序の解析	小川 啓恭	血液内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
肝癌脈管侵襲・進展に関与する分子の探索および制御法の開発	平野 公通	肝・胆・膵外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
侵襲時におけるヒドロキソエチルデンブレン製剤の血管内皮糖鎖構造の保護効果	多田 羅 恒雄	麻酔科	2,210,000	補委 日本学術振興会
進行性腎細胞癌に対するLexatumumab併用テムシロリムス療法の開発	呉 秀賢	泌尿器科	1,170,000	補委 日本学術振興会
組織内微小環境因子を標的とした骨治癒促進効果	高岡 一樹	歯科口腔外科	2,210,000	補委 日本学術振興会
がん微小環境における転移制御因子の同定と胃がん治療戦略の確立	菊池 正二郎	上部消化管外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
病理診断学とGISTモデルマウスの融合によるGISTのエピゲノム治療の開発	松田 育雄	病院病理部	2,080,000	補委 日本学術振興会
高血圧症における鉄の関与と新規予防戦略の開発	内藤 由朗	循環器内科	2,080,000	補委 日本学術振興会
ディスペプシア症状発現における十二指腸上皮細胞間接着装置とIL-33に関する検討	大島 忠之	消化管内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
ストレス負荷時の食道生理機能変化を指標とした非びらん性胃食道逆流症の病態解析	三輪 洋人	消化管内科	1,820,000	補委 日本学術振興会

小計 15

慢性肝疾患における肝細胞障害と肝内凝固亢進状態の関連性に関する検討	西口 修平	肝・胆・膵内科	2,210,000	補委	日本学術振興会
免疫老化への介入による新規循環器疾患治療戦略の確立	新村 健	総合内科	2,470,000	補委	日本学術振興会
腎性貧血治療における鉄貯蔵状態と造血細胞分化・鉄利用の関係の検討	中西 健	腎・透析内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
肝組織修復における類洞内皮細胞、星細胞の役割解明と骨髄、脾臓との臓器相関の解析	飯室 勇二	肝・胆・膵外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析による大腸癌リンパ節外転移の診断法確立と新たな転移関連因子の検索	野田 雅史	下部消化管外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫に対する分子標的薬剤治療の模索	長谷川 誠紀	呼吸器外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
ヒアルロン酸/CD44/MEK経路遮断による悪性胸膜中皮腫治療の開発	黒田 鮎美	呼吸器外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
メンソール、カプサイシンが神経系を介して鼻炎、副鼻腔炎の病態に及ぼす影響	都築 建三	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
端側型神経移植による顔面神経再生様式の解析	垣淵 正男	形成外科	1,040,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性創傷治癒障害における血清由来Nanoparticleの役割の解明	河合 建一郎	形成外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
ラット出血性ショック蘇生後肺障害モデルにおける水素吸入療法の効果	中尾 篤典	救急科	1,300,000	補委	日本学術振興会
日本人の重症病態とTLR/IL-1RファミリーのIL-18遺伝子多型と性差の関係	小谷 穰治	救急科	1,690,000	補委	日本学術振興会
歯痛と海馬の可塑性および帯状回・扁桃核との機能連携の解析	長谷川 誠実	歯科口腔外科	1,560,000	補委	日本学術振興会
咀嚼する食品の味・香りがストレス反応に与える影響	長谷川 陽子	歯科口腔外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
難治性口腔癌に対するヘッジホッグシグナルを応用した治療戦略	野口 一馬	歯科口腔外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
消化管粘膜の恒常性維持におけるReg蛋白の役割	福井 広一	消化管内科	900,000	補委	日本学術振興会
冠動脈ステント留置後の心臓血管内視鏡検査に関する多施設共同研究	石原 正治	冠疾患内科	1,950,000	補委	日本学術振興会

小計 17

IL-18の心不全発症保護作用の検討	廣谷 信一	循環器内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
IgA腎症発症に関わる口腔内免疫応答の解明	長澤 康行	腎・透析内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
軸索ジストロフィーモデルマウスを用いた神経軸索障害の成因に関する研究	芳川 浩男	神経内科	800,000	補委	日本学術振興会
メタボリックシンドローム・動脈硬化における終末糖化産物・血管炎症の意義	小山 英則	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
筋ジストロフィー分子治療の有効性に関与する炎症性物質の動態に関する研究	竹島 泰弘	小児科	2,080,000	補委	日本学術振興会
角化症における警告因子の誘導と病態	山西 清文	皮膚科	2,080,000	補委	日本学術振興会
FDG-PETによる術前化学療法法の早期治療効果判定法の確立	三好 康雄	乳腺・内分泌外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
大腸癌におけるオキサリプラチン耐性の異なる二つの分子マーカー同定と臨床応用	富田 尚裕	下部消化管外科	2,340,000	補委	日本学術振興会
肝内胆管癌におけるHemidesmosome関連蛋白の働きと治療への応用	宇山 直樹	肝・胆・膵外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
骨肉腫の肺転移抑制におけるmTOR阻害剤とバルプロン酸併用による有効性向上の研究	麩谷 博之	整形外科	1,820,000	補委	日本学術振興会
高齢者の痛みにおける高齢者総合的機能評価およびエピジェネティクスの関与の解明	廣瀬 宗孝	麻酔科・疼痛制御科	1,300,000	補委	日本学術振興会
尿路病原性大腸菌の薬剤排出ポンプ機能の阻害によりキノロン耐性誘導を阻止する	山本 新吾	泌尿器科	1,300,000	補委	日本学術振興会
人工呼吸関連肺炎予防のための経口気管挿管患者に対する最適な口腔ケア方法の確立	岸本 裕充	歯科口腔外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
乳児排尿測定装置の開発	兼松 明弘	泌尿器科	780,000	補委	日本学術振興会
人工抗体を用いた滑膜増殖の制御	關口 昌弘	リウマチ・膠原病科	1,170,000	補委	日本学術振興会
モルヒネ慢性投与下におけるベンゾアゼピン感受性増強の関連性の解明	恒遠 剛示	ペインクリニック部	780,000	補委	日本学術振興会
副刺激を調節した γ δ T細胞を用いた新たな養子免疫療法の可能性の検討	鈴木 透	泌尿器科	1,430,000	補委	日本学術振興会

小計 17

集中治療室(ICU,NICU)における薬剤性有害事象に関する臨床疫学研究	太田 好紀	総合内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
ラット逆流性食道炎モデルにおけるプロスタグランジンと自発運動への関与	近藤 隆	消化管内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
リンパ球Sema4D分子標的による神経再生療法の検討	田片 将士	眼科	1,170,000	補委	日本学術振興会
皮膚におけるインターロイキン36の活性化に関する研究	山本 雅章	皮膚科	1,430,000	補委	日本学術振興会
MRIテンソル画像を用いた陰茎海綿体神経描出に関する研究	北島 一宏	核医学・PET診療部	1,430,000	補委	日本学術振興会
新規放射線防護材としてのスタチンの可能性と肥満が及ぼす影響	土井 啓至	放射線科	2,730,000	補委	日本学術振興会
造血幹細胞移植患者の無菌室での身体活動パターンの解明と自主運動プログラムの開発	森下 慎一郎	リハビリテーション部	1,950,000	補委	日本学術振興会
腹部大動脈瘤における鉄の関与と治療戦略の探索	澤田 悠	冠疾患内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
インターロイキン33の活性化と皮膚炎の病態に関する研究	羽田 孝司	皮膚科	1,170,000	補委	日本学術振興会
神経細胞死後の二次変性・他細胞障害に至る経路の解明	石川 裕人	眼科	1,950,000	補委	日本学術振興会
敗血症に伴う心筋障害におけるIL18の関与と治療戦略の開発	奥原 祥貴	循環器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌におけるシスプラチン耐性機構の解析	吉川 恭平	歯科口腔外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
EMT誘導による骨微小環境変化の解明	山村 倫世	歯科口腔外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性腎症での尿細管・間質線維化における細胞内鉄代謝異常の関与	名波 正義	腎・透析内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
DICOM-RTを用いた強度変調回転放射線治療の治療計画評価プログラムの開発	井上 裕之	放射線技術部	500,000	補委	日本学術振興会
舌圧センサシートを用いたパーキンソン病患者の嚥下時舌圧に関する研究	福岡 達之	リハビリテーション部	500,000	補委	日本学術振興会
急性期内科疾患における日常生活動作自立度判定のための簡易的評価法の検討	山内 真哉	リハビリテーション部	500,000	補委	日本学術振興会

小計 17

Plakin Family蛋白発現制御による肝内胆管癌治療戦略	宇山 直樹	肝・胆・膵外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
甲状腺眼症の病態解明と新規治療法の確立	三村 治	眼科	500,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチの骨破壊に対するS1P/S1P1シグナルの役割	北野 将康	リウマチ・膠原病内科	2,080,000	補委	日本学術振興会
DSM-5のチック関連性強迫性障害の妥当性、信頼性、臨床的有用性に関する検討	林田 和久	精神科神経科	1,000,000	補委	日本学術振興会
ヒトの舌知覚閾値測定	任 智美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補委	日本学術振興会
エンドトキシン血症肺毛細血管モデルにおけるヒスタミン受容体発現と血管透過性の関係	尾迫 貴章	救急科	2,080,000	補委	日本学術振興会
安全な薬物治療を促進する多職種間情報共有システムの開発に関する研究	森本 剛	総合内科	3,750,000	補委	厚生労働省
胎児・新生児骨系統疾患の診断と予後に関する研究	澤井 英明	産科婦人科	26,000,000	補委	厚生労働省
脳卒中急性期医療の地域格差の可視化と縮小に関する研究	吉村 紳一	脳神経外科	100,000	補委	厚生労働省
VCP阻害剤を用いた眼難治疾患に対する新規治療法開発	三村 治	眼科	1,000,000	補委	厚生労働省
VCP阻害剤を用いた眼難治疾患に対する新規治療法開発	石川 裕人	眼科	300,000	補委	厚生労働省
腹膜播種を伴う胃癌に対するパクリタキセル腹腔内投与併用療法の有用性を評価する第Ⅲ相臨床試験	三輪 洋人	消化管内科	780,000	補委	厚生労働省
造血細胞移植における肝中心静脈閉塞症(VOD)に対する本邦未承認薬defibrotideの国内導入のための研究:第Ⅰ相および第Ⅱ相試験(医師主導治験)	小川 啓恭	血液内科	3,000,000	補委	厚生労働省
B型肝炎ウイルスe抗体陽性無症候性キャリアの長期予後に関する検討	西口 修平	肝・胆・膵内科	1,000,000	補委	厚生労働省
B型肝炎の核酸アナログ薬治療におけるdrug freeを目指したインターフェロン治療の有用性に関する研究	西口 修平	肝・胆・膵内科	4,000,000	補委	厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	佐野 統	リウマチ・膠原病内科	750,000	補委	厚生労働省
歯科介入型の新たな口腔管理法の開発及び介入効果の検証等に関する研究	岸本 裕充	歯科口腔外科	250,000	補委	厚生労働省

中性脂肪蓄積心筋血管症に対する中鎖脂肪酸を含有する医薬品の開発	長澤 康行	腎・透析内科	150,000	補委	厚生労働省
新たな造血幹細胞移植法の開発:生着工率の向上を目指して	小川 啓恭	血液内科	800,000	補委	厚生労働省
関節鏡視下自己骨髄間葉系幹細胞移植による関節軟骨欠損修復 —多施設共同、非盲検、ランダム化、並行比較試験	吉矢 晋一	整形外科	3,500,000	補委	厚生労働省
中性脂肪蓄積心筋血管症に対する中鎖脂肪酸を含有する医薬品の開発	羽尾 裕之	病院病理部	1,000,000	補委	厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	中村 志郎	炎症性腸疾患内科	300,000	補委	厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	池内 浩基	炎症性腸疾患外科	300,000	補委	厚生労働省
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究(分担研究課題:胃がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究)	笹子 三津留	上部消化管外科	1,400,000	補委	厚生労働省
がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善に関する研究	廣瀬 宗孝	麻酔科・疼痛制御科	2,000,000	補委	厚生労働省
筋ジストロフィーのエビデンス創出を目的とした臨床研究と体制整備 (分担研究課題:筋ジストロフィーに対する新規治療の有効性・安全性評価法に関する研究)	竹島 泰弘	小児科	1,000,000	補委	厚生労働省
本邦におけるHFpEFの実態に関する多施設共同調査研究 (分担研究課題:心機能データ解析)	増山 理	循環器内科	250,000	補委	厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	中尾 博之	救急科	130,000	補委	厚生労働省
妊産婦・乳幼児を中心とした災害時要援護者の福祉避難所運営を含めた地域連携防災システム開発に関する研究	中尾 博之	救急科	700,000	補委	厚生労働省
がん微小環境を標的とする消化器がん治療法の開発	笹子 三津留	上部消化管外科	21,000,000	補委	文部科学省
中皮細胞の統合的研究拠点形成	中野 孝司	呼吸器内科	20,000,000	補委	文部科学省
HLA半合致移植と骨髄内骨髄移植を柱とする包括的細胞療法確立を目指した研究	小川 啓恭	血液内科	5,500,000	補委	文部科学省
外科手術後癒着形成:分子機構の解明と診断・治療技術の開発	藤元 治朗	肝胆膵外科	30,000,000	補委	文部科学省

分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発(悪性中皮腫のプロファイリングによる新規分子標的の同定)	中野 孝司	呼吸器内科	10,500,000	補 委	文部科学省	
羊膜由来間葉系幹細胞の再生医療製品化と急性GVHDに対する治療応用	相馬 俊裕	血液内科	20,000,000	補 委	文部科学省	
糖鎖固定化ナノ粒子を用いたウイルス性疾患の非侵襲的診断システム	中嶋 一彦	感染制御部	2,000,000	補 委	文部科学省	
Helicobacter pylori 除菌による胃粘膜遺伝子変化と発癌抑制効果に関する研究	福井 広一	消化管内科	500,000	補 委	兵庫県 健康財団	小計 4 合計 103

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Inoue Yukako	皮膚科	ABCA12-deficient Congenital Ichthyosiform Erythroderma in a Boy with an Intellectual Developmental	Acta Derm Venereol 2014;95:747-749
2	Shinmura Ken	総合内科	Indispensable role of endothelial nitric oxide synthase in caloric restriction-induced cardioprotection against ischemia/reperfusion injury.	Anti-cancer agents in medicinal chemistry2014;
3	Tsubamoto Hiroshi	産科婦人科	Impact of combination chemotherapy with itraconazole on survival of patients with refractory ovarian cancer.	Anticancer research 2014;34(5): 2481-2487
4	Tsubamoto Hiroshi	産科婦人科	Impact of combination chemotherapy with itraconazole on survival for patients with recurrent or persistent ovarian clear cell carcinoma.	Anticancer research 2014;34(4): 2007-2014
5	Yamamura Mitsuhiro	心臓血管外科	Open heart surgery after renal transplantation.	Asian cardiovascular & thoracic annals 2014;22(7):775-780
6	Iimuro Yuji	肝・胆・膵外科	Analysis of unique liver volume restoration after laparoscopic fenestration of liver cysts	Asian journal of endoscopic surgery 2014;7(2):124-132
7	Kadoya Manabu	糖尿病・内分泌・代謝内科	Sleep, cardiac autonomic function, and carotid atherosclerosis in patients with cardiovascular risks: HSCAA study.	Atherosclerosis 2014;238(2):409-414
8	Sakuma Mio	臨床研究支援センター	Adverse drug events and medication errors in Japanese pediatric inpatients: A retrospective cohort study.	BMJ Quality and Safety 2014;23(10):830-837
9	Lee Tomoko	小児科	Standard values for the urine HVA/VMA ratio in neonates as a screen for Menkes disease.	Brain&development 2014;37(1):114-119

小計 9

10	Murase Keiko	乳腺・内分泌外科	Prognostic significance of geminin expression levels in Ki67-high subset of estrogen receptor-positive and HER2-negative breast cancers.	Breast Cancer 2014;online
11	Tomita Toshihiki	消化管内科	IL-22 produced by cancer-associated fibroblasts promotes gastric cancer cell invasion via STAT3 and ERK signaling.	British journal of cancer 2014;111(4):763-771
12	Ishihara Masaharu	冠疾患内科	Takotsubo cardiomyopathy and left ventricular outflow tract obstruction.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2014;79(4):758-760
13	Fujii Kenichi	循環器内科	Can optical coherence tomography findings be used as surrogates for vessel healing after drug-eluting stent implantation?	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2014;78(8):1826-1827
14	Masaki Mitsuru	臨床検査部	Elevated arterial stiffness and diastolic dysfunction in subclinical hypothyroidism.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2014;78(6):1494-1500
15	Miki Kojiro	循環器内科	Effect of bare-metal nitinol stent implantation and Paclitaxel-eluting nitinol stent implantation on vascular response in the superficial femoral artery lesion assessed on intravascular ultrasound.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society 2014;78(6):1451-1458
16	Fukunaga Masashi	循環器内科	Response to Letter Regarding Article, "Thermodilution-Derived Coronary Blood Flow Pattern Immediately After Coronary Intervention as a Predictor of	Circulation. Cardiovascular interventions 2014;7(3):418
17	Fukunaga Masashi	循環器内科	Thermodilution-derived coronary blood flow pattern immediately after coronary intervention as a predictor of microcirculatory damage and midterm clinical	Circulation. Cardiovascular interventions 2014;7(2):149-155
18	Mimura Osamu	眼科	Retrospective study of recession of four horizontal rectus muscle in periodic alternating nystagmus	Clinical ophthalmology (Auckland, N.Z.) 2014;8:2523-2528
19	Mito Hironori	精神科神経科	The impacts of elevated autism spectrum disorder traits on clinical and psychosocial features and long-term treatment outcome in adult patients with obsessive-compulsive disorder.	Comprehensive psychiatry 2014;55(7):1523-1526
20	Enomoto Hirayuki	肝・胆・膵内科	Role of hepatoma-derived growth factor in antiangiogenic therapy for hepatocellular carcinoma.	Curr.Res.in Gastroenterology & Hepatology 2014;8:13-18

21	Enomoto Hirayuki	肝・胆・膵内科	Glycated albumin to glycated hemoglobin ratio as a biomarker of liver fibrosis.	Curr.Res.in Gastroenterology & Hepatology 2014;2:1-15
22	Yokoyama Yoko	炎症性腸疾患内科	Crohn's disease complicated by hepatitis B virus successfully treated with the use of adsorptive depletion of myeloid lineage leucocytes to suppress inflammatory cytokine profile.	Cytotherapy 2014;16(6):821-825
23	Matsuo Toshihiro	糖尿病・内分泌・代謝内科	Response of incretins (GIP and GLP-1) to an oral glucose load in female and male subjects with normal glucose tolerance.	Diabetes research and clinical practice 2014;106(2):25-29
24	Tozawa Katsuyuki	消化管内科	A randomized, double-blind, placebo-controlled study of rebamipide for gastric mucosal injury taking aspirin with or without clopidogrel.	Digestive diseases and sciences 2014;59(8):1885-1890
25	Ogawa Tomohiro	消化管内科	Evaluation of discomfort during colonoscopy with conventional and ultrathin colonoscopes in ulcerative colitis patients.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society 2014;27(1):99-105
26	Matsubara Nagahide	下部消化管外科	Mortality After Common Rectal Surgery in Japan: A Study on Low Anterior Resection From a Newly Established Nationwide Large-Scale Clinical Database.	Diseases of the Colon & Rectum 2014;57(9):1075-1081
27	Murai Kazuki	糖尿病・内分泌・代謝内科	Very Short-Term Effects of the Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitor Sitagliptin on the Secretion of Insulin, Glucagon, and Incretin Hormones in Japanese Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: Analysis of Meal Tolerance Test Data	Drugs in R&D 2014;14(4):301-308
28	Nakae Rie	糖尿病・内分泌・代謝内科	Medium-term effect of insulin degludec on patients with type 1 diabetes mellitus.	Drugs in R&D 2014;14(2):133-138
29	Nishiura Hiroshi	病院病理部	Annexin A3 plays a role in cytoplasmic calcium oscillation by extracellular calcium in the human promyelocytic leukemia HL-60 cells differentiated by phorbol-12-myristate-13-acetate	Experimental and Molecular Pathology 2014;97(2):241-246
30	Enomoto Hirayuki	肝・胆・膵内科	A new metabolism-related index correlates with the degree of liver fibrosis in hepatitis C virus-positive patients.	Gastroenterol Res Pract 2014:1-6
31	Tatsumi Emiko	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	RhoA/ROCK pathway mediates p38 MAPK activation and morphological changes downstream of P2Y12/13 receptors in spinal microglia in neuropathic pain.	Glia 2014;63(2):216-228

32	Takashima Tomoyuki	肝・胆・膵内科	Hepatitis C virus relapse was suppressed by long-term self-injection of low-dose interferon in patients with chronic hepatitis C after pegylated interferon plus ribavirin treatment.	Hepatol Research 2014;44(6):597-607
33	Ikeda Naoto	肝・胆・膵内科	Nationwide survey in Japan regarding splenectomy/partial splenic embolization for interferon treatment targeting hepatitis C virus-related chronic liver disease in patients with low platelet count	Hepatology Research 2014;44(8):826-836
34	Takashima Tomoyuki	肝・胆・膵内科	Hepatitis C virus relapse was suppressed by long-term self-injection of low-dose interferon in patients with chronic hepatitis C after pegylated interferon plus ribavirin treatment.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology 2014;44(6):597-607
35	Uwa Nobuhiro	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Histopathological evidence for irradiation angiopathy in head and neck cancer	Int J Otolaryngol Head Neck Surg 2014;4(2):108-114
36	Katsura Hirokazu	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Evaluation of prognostic factor for perforation closure rate in patient with chronic otitis media	Int J Otolaryngol Head Neck Surg 2014;3:307-310
37	Hashimoto Masaki	呼吸器外科	Significant increase in circulating tumour cells in pulmonary venous blood during surgical manipulation in patients with primary lung cancer.	Interactive cardiovascular and thoracic surgery 2014;18(6):775-783
38	Kurajoh Masafumi	糖尿病・内分泌・代謝内科	Partial HPRT Deficiency with a Novel Mutation of the HPRT Gene in Combination with Four Previously Reported Variants Associated with Hyperuricemia	Internal Medicine 2014;2015(54):1523-1526
39	Tsubamoto Hiroshi	産科婦人科	Impact of itraconazole on the survival of heavily pre-treated patients with triple-negative breast cancer.	International Institute of Anticancer Research 2014;34(7):3839-3844
40	Sakane Riya	産科婦人科	Expression of Chemokine Ligand 18 in Stage IA Low-grade Endometrial Cancer.	International Institute of Anticancer Research 2014;34(10):7020-7027
41	Ohta Yoshinori	総合内科	Influence of adverse drug events on morbidity and mortality in intensive care units: the JADE study.	International Journal for Quality in Health Care 2014;26(6):573-578
42	Morii-Kashima Mina	産科婦人科	Development of an integrated support system for hereditary cancer and its impact on gynecologic services.	International Journal of Clinical Oncology 2014;19:1043-1051

43	Matsuda Ikuo	病院病理部	Spontaneous regression of primary extranodal marginal zone lymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue (MALT lymphoma) colliding with invasive ductal carcinoma of the breast: a case report.	International Journal of Clinical and Experimental Pathology. 2014;7(10):7020-7027
44	Beppu Naohito	下部消化管外科	The timing of surgery after preoperative short-course S-1 chemoradiotherapy with delayed surgery for T3 lower rectal cancer.	International Journal of Colorectal Disease 2014;29:1459-1466
45	Yanai Ayako	乳腺・内分泌外科	Influence of body mass index on clinicopathological factors including estrogen receptor, progesterone receptor, and Ki67 expression levels in breast cancer.	International Journal of Oncology 2014;19(3):467-472
46	Yoshikawa Yoshie	臨床遺伝部	Biallelic germline and somatic mutations in malignant mesothelioma: Multiple mutations in transcription regulators including mSWI/SNF genes.	International journal of cancer. Journal international du cancer 2014;136(3):560-571
47	Kaida Katsuji	血液内科	Soluble interleukin-2 receptor level on day 7 as a predictor of graft-versus-host disease after HLA-haploidentical stem cell transplantation using reduced-intensity conditioning.	International journal of hematology 2014;99(4):463-470
48	Yamanegi Koji	病院病理部	Sodium valproate, a histone deacetylase inhibitor, modulates the vascular endothelial growth inhibitor-mediated cell death in human osteosarcoma and vascular endothelial cells.	International journal of oncology 2014;46:1994-2002
49	Iwata Kazunari	肝・胆・膵内科	Serum zinc value in patients with hepatitis virus-related chronic liver disease: association with the histological degree of liver fibrosis and with the severity of varices in compensated cirrhosis.	J Clin Biochem Nutr 2014;55(2):147-152
50	Fujii Kenichi	循環器内科	In-stent thin-cap fibroatheroma after drug-eluting stent implantation: ex-vivo evaluation of optical coherence tomography and intracoronary angiography.	JACC. Cardiovascular interventions 2014;7(4):446-447
51	Ueki Ryusuke	麻酔科・疼痛制御科	Effect of decreased fetal perfusion on placental clearance of volatile anesthetics in a dual perfused human placental cotyledon model.	Journal of Anesthesia 2014;28(4):635-638
52	Ueki Ryusuke	麻酔科・疼痛制御科	Utility of the Aintree Intubation Catheter in fiberoptic tracheal intubation through the three types of intubating supraglottic airways: a manikin simulation study.	Journal of Anesthesia 2014;28(3):363-367
53	Moriwaki Yuji	糖尿病・内分泌・代謝内科	Effects on Uric Acid Metabolism of the Drugs except the Antihyperuricemics	Journal of Bioequivalence & Bioavailability 2014;6:10-17

54	Sakai Yoshiyuki	肝・胆・膵内科	Two randomized controlled studies comparing the nutritional benefits of branched-chain amino acid (BCAA) granules and a BCAA-enriched nutrient mixture for patients with esophageal varices after endoscopic treatment.	Journal of Gastroenterology 2014;50(1):109-118
55	Okuhara Yoshitaka	循環器内科	Intravenous salt supplementation with low-dose furosemide for treatment of acute decompensated heart failure	Journal of cardiac failure 2014;20(5):295-301
56	Morisawa Daisuke	冠疾患内科	Hemodynamic response to sildenafil in patients with decompensated congestive heart failure can be predicted by deceleration time of transmitral flow.	Journal of cardiovascular pharmacology 2014;65(1):72-79
57	Miwa Hiroto	消化管内科	Evidence-based clinical practice guidelines for functional dyspepsia.	Journal of gastroenterology 2014;50(2):125-139
58	Tanaka Hironori	超音波センター	New malignant grading system for hepatocellular carcinoma using the Sonazoid contrast agent for ultrasonography.	Journal of gastroenterology 2014;49(4):755-763
59	Miwa Hiroto	消化管内科	Demography and Treatment Response in Patients with Predominant Non-erosive Reflux Disease or Functional Dyspepsia.	Journal of gastroenterology and hepatology 2014;30(5):834-841
60	Togo Yoshikazu	泌尿器科	Occurrence of infection following prostate biopsy procedures in Japan: Japanese Research Group for Urinary Tract Infection (JRGU) - a multi-center retrospective study.	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy 2014;20(4):232-237
61	Saka Ryuta	小児外科	Laparoscopic treatment of pediatric hydrocele and the evaluation of the internal inguinal ring	Journal of laparoendoscopic& advanced surgical techniques. Part A 2014;24(9):664-668
62	Maruo Keishi	整形外科	The impact of dynamic factors on surgical outcomes after double-door laminoplasty for ossification of the posterior longitudinal ligament of the cervical spine.	Journal of neurosurgery. Spine 2014;21(6):938-43
63	Tachibana Toshiya	整形外科	Subarachnoid-subarachnoid bypass for spinal adhesive arachnoiditis.	Journal of neurosurgery. Spine 2014;21(5):817-820
64	Tsubamoto Hiroshi	産科婦人科	Feasibility and efficacy of intraperitoneal docetaxel administration as salvage chemotherapy for malignant gynaecological ascites.	Journal of obstetrics and gynaecology 2014;14:1-5

65	Okuno Makiko	整形外科	Meniscus regeneration by syngeneic, minor mismatched, and major mismatched transplantation of synovial mesenchymal stem cells in a rat model.	Journal of orthopaedic research : official publication of the Orthopaedic Research Society 2014;32(7):928-936
66	Fukunishi Shigeo	整形外科	Significance of preoperative 3D-CT angiography for localization of the femoral artery in complicated THA	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association 2014;19:457-464
67	Maruo Keish	整形外科	Outcome and treatment of postoperative spine surgical site infections: predictors of treatment success and failure.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association 2014;19(3):398-404
68	Saka Ryuta	小児外科	Immunolocalization of surfactant protein D in the liver from infants with cholestatic liver disease	Journal of pediatric surgery 2014;50(2):297-300
69	Sotsuka Yohei	形成外科	Making three-dimensional mandible models using a personal three-dimensional printer.	Journal of plastic, reconstructive & aesthetic surgery : JPRAS 2014;67(4):576-578
70	Hasegawa Makoto	歯科口腔外科	Effects of repeated tooth pulp stimulation on concentrations of plasma catecholamines, corticosterone, and glucose in rats	Neurological research 2014;36(8):757-762
71	Kawabe Mutsuki	歯科口腔外科	Expression of interleukin-34 and colony stimulating factor-1 in the stimulated periodontal ligament cells with tumor necrosis factor- α	Medical Molecular Morphology; 2014:online:
72	Kondo Takashi	消化管内科	Effect of Rikkunshito on the expression of substance P and CGRP in dorsal root ganglion neurons and voluntary movement in rats with experimental reflux esophagitis	Neurogastroenterology & Motility 2014;26(7):913-921
73	Takeda Masanaka	神経内科	Pain in patients with Parkinson's disease; a pain-related evoked potential study	Neuroscience and Biomedical Engineering 2014;2(1):36-40

74	Miwa Hiroto	消化管内科	Esophageal sensation and hypersensitivity -its mechanism and clinical implication-.	Nihon Shokakibyō Gakkai zasshi = The Japanese journal of gastroenterology 2014;111(10):1911-1922
75	Yamanishi Kyosuke	精神科神経科	Hepatocyte Nuclear Factor 4 Alpha Is a Key Factor Related to Depression and Physiological Homeostasis in the Mouse Brain	PLOS ONE 2014;10(3):119-121
76	Kohama Hanako	ICU	Simulation analysis of three intubating supraglottic devices during infant chest compression	Pediatrics International 2014;57:180-182
77	Mikami Koji	呼吸器内科	Naftopidil Is Useful for the Treatment of Malignant Pleural Mesothelioma	Pharmacology 2014;94(3-4):163-169
78	Nishimoto Soh	形成外科	Three-dimensional mock-up model for chondral framework in auricular reconstruction, built with a personal three-dimensional printer	Plastic and reconstructive surgery 2014;134(1):180e-181e
79	Sotsuka Yohei	形成外科	Image overlay of deep inferior epigastric artery in breast reconstruction.	Plastic and reconstructive surgery. Global open 2014;2(10):e235
80	Sueoka Hideaki	肝・胆・膵外科	Blockage of CXCR2 suppresses tumor growth of intrahepatic cholangiocellular carcinoma	Surgery 2014;155(4):640-649
81	Uchino Motoi	下部消化管外科	Catheter-associated bloodstream infection after bowel surgery in patients with inflammatory bowel disease.	Surgery today 2014;44(4):677-684
82	Aizawa Nobuhiro	内視鏡センター	Thrombocytopenia in pegylated interferon and ribavirin combination therapy for chronic hepatitis C.	The Japanese Society of Gastroenterology 2014;49(8):1253-1263
83	Watari Jiro	消化管内科	Helicobacter pylori associated chronic gastritis, clinical syndromes, precancerous lesions, and pathogenesis of gastric cancer development	World Journal of Gastroenterology 2014;20(18):5461-5473
84	Tsubamoto Hiroshi	産科婦人科	Benefit of palliative chemotherapy and hospice enrollment in late-stage ovarian cancer patients.	The journal of obstetrics and gynaecology research 2014;40(5):1399-1406

小計 11

合計 84

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理委員会の申請手続、進行手順、委員長から学長への答申・承認の方法について記載	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 3 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 本学の役員及び教職員が、産学官連携活動を行うにあたり利益相反を適切に管理する手続き等について記載	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 3 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容 研修① 日程：平成26年10月16日（木）午後6時00分～午後7時00分 講師：信州大学 副学長・医学部教授（遺伝医学・予防医学）福嶋 義光 氏 演題：「CITI Japan プロジェクト ―研究者育成の為に行動規範教育の標準化と教育システムの全国展開―」（参加者：81人）	

研修②

日程：平成27年3月20日（金）午後5時30分～午後7時00分

第1部

講師：厚生労働省医政局研究開発振興課先進医療係長 小笠原 大介 氏

演題：「先進医療制度について(兵庫医科大学 編)」

第2部

講師：厚生労働省医政局研究開発振興課治験推進室主査 吉岡 恭子 氏

演題：「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針について」

(参加者：231人)

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

初期臨床研修を修了した卒後 3 年目以上の医師を対象に、専門医を目指すための専門的な研修を行う。当該研修においては、専攻分野ごとに研修プログラムを策定し、研修目標・到達目標の設定や、年次ごとのカリキュラムの設定を通して、効果的な研修が実施できるよう配慮している。

。なお、多数の症例を経験させるために、関連病院とも協働して研修を実施している。
また、専攻分野によっては、研修期間中に大学院へと進学し、研究を行うことも可能としているものもある。

2 研修の実績

研修医の人数	119.7人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
澤田 暁宏	血液内科	助教	18 年	
松井 聖	リウマチ・膠原病 内科	教授	31 年	
勝野 朋幸	糖尿病・内分泌・ 代謝内科	准教授	17 年	
榎本 平之	肝・胆・膵内科	准教授	21 年	
武田 正中	神経内科	教授	30 年	
木田 有利	腎・透析内科	助教	15 年	
廣谷 信一	循環器内科/冠疾 患内科	講師	20 年	
富田 寿彦	消化管内科	講師	17 年	
飯室 正樹	炎症性腸疾患内 科	助教	18 年	
新村 健	総合内科	診療部長	28 年	
鈴木 和大	肝・胆・膵外科	講師	18 年	
海辺 展明	上部消化管外科	助教	12 年	
坂東 俊宏	下部消化管外科 / 炎症性腸疾患 外科	助教	11 年	
山村 光弘	心臓血管外科	講師	26 年	
松本 成司	呼吸器外科	講師	18 年	
大植 孝治	小児外科	診療部長	29 年	
三好 康雄	乳腺・内分泌外科	診療部長	30 年	
宮脇 淳志	救命救急センタ ー	講師	23 年	
狩谷 伸享	麻酔科・疼痛制御 科	准教授	22 年	
服部 益治	小児科	教授	36 年	

清野 仁美	精神科神経科	講師	14年
澤井 英明	産科婦人科	教授	30年
福西 成男	整形外科	講師	26年
西本 聡	形成外科	教授	25年
内田 和孝	脳神経外科	助教	14年
中川 登	皮膚科	講師	13年
山本 新吾	泌尿器科	診療部長	27年
池田 尚弘	眼科	助教	30年
阪上 雅史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療部長	34年
廣田 省三	放射線科	診療部長	36年
竹田 健太	I C U	講師	15年
道免 和久	リハビリテーション部	部長	28年
廣田 誠一	病院病理部	部長	30年
恒遠 剛示	ペインクリニック部	助教	11年
藤盛 好啓	輸血・細胞治療科	診療部長	34年
應田 義雄	内視鏡センター	講師	18年
飯島 尋子	超音波センター	センター長	31年
田端 千春	がんセンター	准教授	22年
中嶋 一彦	感染制御部	講師	18年
正木 充	臨床検査部	講師	13年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

（看護師）専門看護師・認定看護師取得に係る研修をはじめとした急性期医療の現場における実践研修

（薬剤師）病院薬剤師の基本的な技術を習得するとともに薬物療法に関する臨床及び基礎の幅広い知識と技術の習得を図り、より質の高い臨床薬剤師の育成を目的とした臨床研修

（理学療法士・作業療法士）病院でのリハビリテーションの基本的な技術を習得するとともに臨床における幅広い知識と専門的な技術の習得を図り、より質の高い理学療法士及び作業療法士を育成することを目的とした臨床研修

・研修の期間・実施回数

（看護師）14回、延べ190日

（薬剤師）最大3年間（1年目を臨床薬剤師総合コースとし、2・3年目を臨床実務実践コースとしている）であり、その間の勤務体系については常勤職員に準ずる。

（理学療法士・作業療法士）最大2年間（1年目を一般基礎コースとし、2年目を専門基礎コースとしている）であり、その間の勤務体系については常勤職員に準ずる。

・研修の参加人数

（看護師）23名

（薬剤師）2名

（理学療法士）6名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 ・ 研修の期間・実施回数 ・ 研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 ・ 研修の期間・実施回数 ・ 研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 難波 光義
管理担当者氏名	管理課長 元嶋 寛幸、 医事課長 入佐 賢一 診療支援課長 柳谷 浩以、 薬剤部長 木村 健

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		管理課 診療支援課 薬剤部 診療各科	保管部署及び電子カルテ上にて管理している。 なお、画像保存通信システム（PACS）は平成21年3月16日より、電子カルテシステムは平成25年2月25日より稼働している。 また、入院診療録・外来診療録については如何なる場合においても院外への持ち出しはできないが、画像診断記録及びその他の診療記録については所定の手続きを経ることにより持ち出しの許可を受けることができる。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	電子媒体及び紙媒体をファイリングすることで管理している。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	管理課	
	高度の医療の研修の実績	管理課	
	閲覧実績	—	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	管理課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項各号及び第九の	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	電子媒体及び紙媒体をファイリングすることで管理している。 一部指針等については院内向けホームページでも公開している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	

	二十	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	第一項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	管理課 医療安全管理部	

		保管場所		管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	電子媒体及び紙媒体をファイリングすることで管理している。一部指針等については院内向けホームページでも公開している。
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部 管理課	
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
	各号	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	及び	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部	
	第九条	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部	
	の	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	
	第二十三	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室	
	第一項	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室	
第一号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室		
に掲げる	医療機器の安全使用のために必要となる情	医療安全管理部		
体制の				
確保の				
状況				

		報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況		
--	--	--------------------------------------	--	--

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	病院事務部長 甲斐 義啓	
閲覧担当者氏名	管理課長 元嶋 寛幸、医事課長 入佐 賢一 診療支援課長 柳谷 浩以	
閲覧の求めに応じる場所	管理課会議室、医事課会議室	
閲覧の手続の概要		
諸記録の閲覧を請求できる者である、病院に患者を紹介しようとする医師及び歯科医師並びに国及び地方公共団体は当院病院事務部長に「兵庫医科大学病院諸記録閲覧申請書」に必要事項を記入の上申請を行うことで閲覧の許可を得ることができる。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	○有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>I. はじめに ー安全と信頼の医療の提供ー II. 医療安全管理体制確保のための委員会の組織規約 III. 当院における医療安全管理体制図 IV. 当院における異状死（異状死体）届出に関する基準 V. 医療事故を起こした職員・当該部署職員への心理的支援について VI. 大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 2 1 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>① 医療安全管理委員会 1 2 回 ② セイフティマネージャー連絡会 6 回 ③ 医療事故緊急対応部会 0 回 ④ 医療事故等検討部会 0 回 ⑤ 病院長・医療安全管理委員会コアメンバー会議 9 回</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成 2 6 年 6 月 2 4 日（火） テーマ：「医療機器のトラブル事例と対応策」</p> <p>平成 2 6 年 8 月 1 日（金） テーマ：「医療安全のためのヒューマンファクターズの基礎スキル」</p> <p>平成 2 6 年 1 0 月 1 日（水） テーマ：「医薬品事故の防止」</p> <p>平成 2 6 年 1 2 月 1 2 日（金） テーマ：「医療者の具体的言動と紛争 ～インフォームドコンセント時を中心として～」</p> <p>平成 2 7 年 1 月 1 3 日（火） テーマ：「究極の医療コミュニケーション術」</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 （○有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>① 発生したインシデント・アクシデントに対して、副部長・統括・専従セイフティマネージャーが発生部門セイフティマネージャーとともに、内容分析、改善策の検討並びに患者への対応の指示を行っている。また、医療安全管理委員会委員及びセイフティマネージャーから構成される「オンラインインシデント検討会」を毎週開催し、各部門に改善策の助言・提案</p>	

<p>を行うことにしている。なお、必要に応じて「医療事故等検討部会」を開催し、医療事故等の原因を分析し、改善策の検討を行っている。</p> <p>② 報告のあった医療事故に対し、医療安全管理委員会等で原因を分析し、対応・改善策の検討を行っている。また、事故発生1ヶ月後・3ヶ月後（必要時6ヶ月後）に統括・専従セイフティマネージャーと当該部署のセイフティマネージャーで、改善策の実施状況を検証し、医療安全管理委員会に報告している。</p> <p>③ 発生したインシデント・アクシデント内容からテーマを設定し、看護部事故防止委員会・各部署のセイフティマネージャーと連携して、院内監査ラウンドなどを実施している。</p> <p>④ 医療安全強化月間のテーマを決め、各部署の安全への取り組みを支援している。</p> <p>⑤ 医療安全ニュースを毎月発行し、当院のインシデント・アクシデント情報・再発防止策・事故後の検証結果、他施設の事故事例、医療安全情報（厚生労働省・学会・PMDA等）などを掲載し、職員に周知している。</p> <p>⑥ 職種別研修で当院で発生したインシデント・アクシデントを教材にし、事故分析やKYT訓練を行っている。</p> <p>⑦ 全医療人を対象に「多職種協働ワークショップ」を開催し、院内で発生した有害事象の共有、多職種連携の強化に努めている。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（3名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（3）名 兼任（19）名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① 安全管理体制の構築、委員会の運営、指針、マニュアルの改訂など ② 医療事故を防止するための情報収集、分析、改善策の立案、フィードバック、評価 ③ 改善策実施のための各部門への依頼、調整、助言 ④ 安全管理対策の実施状況の調査、分析 ⑤ セーフティマネージャーの活動支援 ⑥ 医療安全に関する職員への教育・研修の実施 ⑦ 医療事故への対応：届出・公表を含む事故発生後の対応、事故の要因分析 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： ① 感染管理に関する基本的な考え方 ② 感染管理体制 ③ 職員の教育・研修 ④ 感染症の発生時の報告 ⑤ 感染症の発生状況の報告 ⑥ 感染症の発生時の対応（平成27年9月改訂） ⑦ 病院感染対策のための指針の閲覧 ⑧ 病院感染対策のための指針の見直し・改正	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： 病院感染対策に関する事項を調査・審議し、院内感染症発生時の原因の分析、改善策の立案、実践、周知等感染管理を推進している。なお、必要があるときには臨時で開催する。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： 病院感染制御に対する基本的な考え方及び具体的施策の周知、業務を遂行するうえでの知識・技能の向上及び病院感染制御に対する意識の高揚を目的として、教育・研修を実施している。 ●病院感染制御をテーマとする講演会を開催（全職員対象）・・・年4回 平成 2 6 年 6 月 2 4 日（火） テーマ：「耐性菌の動向と抗菌薬の適正使用」 平成 2 6 年 8 月 2 2 日（金）～8月28日（木）、9月16日（火）～22日（月） （土・日除く） テーマ：「クリーンハンドキャンペーン」 平成 2 6 年 1 0 月 1 日（水） テーマ：「口腔ケア」 平成 2 7 年 1 月 2 7 日（火）、2月19日（木）（同内容で2回実施） テーマ：「手術部位感染対策」 ●職種別研修等 看護師ラダーレベル別研修、リンクナースを対象とした感染制御に関する研修を実施。 清掃職員（委託業者）を対象とした病院感染制御の基本について研修を実施。 院内感染の増加が疑わしい場合、または確認された場合は、施設全体または部署や職種を限定して院内感染対策に関する教育・指導を実施。	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 感染症発生に係る報告、連絡があった事例は「感染症または病原体の検出種類によるレベル分類」に基づき感染制御部が対応し、必要により感染対策委員会で審議し対策を講ずる。また、アウトブレ	

イクを疑う事例が発生した場合は、「アウトブレイク発生時の対応」に基づき対応する。アウトブレイクの可能性が高いと判断した場合、感染制御部による原因の究明ならびに拡大防止策を指示する。更に、昨年度からはレベル3以上の多剤耐性菌が1例でも検出された場合、アウトブレイク対応として迅速に対応することとしている。感染制御部は感染対策委員会委員長に報告することで、状況により臨時の委員会を開催し対策について協議する。

患者個々の抗菌薬治療に関しては、主治医からのコンサルテーションにより感染制御部と協議する。無菌領域から分離された場合は、感染制御部の抗菌療法の介入対象となる。広域グラム陰性菌治療薬の使用割合をAUDで調査し、カルバペネム系25%弱、タゾバクタム/ピペラシリン25%強、その他の広域βラクタム薬35%、ニューキノロン系15%を目標として使用割合をコントロールし、抗菌薬の適正使用を推進している。

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(医療講演会) ＜平成26年10月1日＞ (DVD補講 10月6日・7日・8日・9日・10日計9回) テーマ 「医薬品事故の防止」 講師 兵庫医科大学病院 薬剤部 鈴木 寛</p> <p>その他の研修 (臨床研修医オリエンテーション) ＜平成26年4月2日＞ テーマ 「医薬品の適正使用および相互作用について」 講師 兵庫医科大学病院 薬剤部 室 親明</p> <p>(新人看護職員研修) ＜平成26年4月14, 16, 21日＞ テーマ 「与薬に関する基礎知識」 講師 兵庫医科大学病院 薬剤部 室 親明</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 病院で用いる医薬品の採用・購入などに関する事項 採用医薬品の選定と見直し 採用医薬品の安全性・取り間違い防止に関する検討 採用医薬品情報の作成・提供 医薬品の発注 医薬品の入庫管理と伝票管理2. 医薬品の管理に関する事項 医薬品棚の配置と医薬品の充填 規制医薬品(麻薬、覚せい剤原料、向精神薬(第1種、第2種)、毒薬) 病棟・各部門への医薬品の供給 病棟等の配置医薬品の管理 医薬品の品質管理 処置薬の管理 救急カートの医薬品管理 輸血用血液製剤の保管・管理 危険物等の管理3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 患者情報の内容および収集・管理、活用について 入院時の使用医薬品の確認 医薬品の使用に関する指示出しと指示受け 処方せんの取り扱い 特に安全管理が必要な医薬品の処方 病棟における処方変更時の対応 処方せんの点検 調剤 院外処方せんの取り扱い	

4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項
 - 投与
 - 服薬指導
 - 投与後の経過観察
 - 医薬品使用による患者容態急変時の応援体制
 - 副作用発現時の対応
5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項
 - 医薬品情報の収集・管理
 - 医薬品情報の提供
 - 薬剤部における副作用情報の収集と提供
 - ヒヤリハット事例・インシデント事例の周知
 - 各部門、各職種からの問い合わせに対する体制整備
 - 患者への薬剤情報提供及び問い合わせに対する対応
6. 他施設との連携に関する事項
 - 他施設からの問い合わせ等に関する体制整備
 - 院外処方せんの発行に関する事項
 - 緊急連絡のための体制整備
7. 放射性医薬品の取り扱いに関する事項
 - 放射性医薬品管理責任者の配置
8. 院内製剤の調整及び使用に関する事項
 - 院内製剤の調整及び使用について
 - 院内製剤の承認について
 - 院内製剤を製造するまでの流れ

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)

- ・ 病棟担当薬剤師から副作用情報の収集
- ・ プレアボイド報告の収集
- ・ ハイリスク薬保管・使用の手順を定め、ハイリスク薬の周知（表示）を実施
- ・ 術前・検査前に休薬を要する薬剤一覧表の改訂

その他の改善のための方策の主な内容：

- ・ 全処方にて注射 1 施用単位の交付を実施
- ・ HVB再燃の可能性のある薬剤処方時のアラートを導入
- ・ 処方オーダー時の薬剤チェックシステム（併用禁忌、アレルギー等）の改善
- ・ 抗がん剤曝露防止対策として専用輸液セットの導入
- ・ 定期的な医薬品の整理 年 2 回実施

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年81回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>以下の機器の取り扱い方法・安全対策について研修を行った</p> <p>人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・補助循環装置・保育器・輸液ポンプ・医療ガス・放射線機器 等</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>以下の装置に対しては定期点検を実施している</p> <p>人工呼吸器・血液透析装置・血液浄化装置・補助循環装置・保育器・麻酔器・体外式ペースメーカー・輸液ポンプ・シリンジポンプ・除細動器・電気メス・ベッドサイドモニター</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 電源ケーブルの破損による漏電発生を受けて、ME機器の電源ケーブルの一斉点検を行った。また、破損がみられる電源ケーブルは使用しないよう広報を行った。・ HCU・救急病棟の酸素流量の加湿ビンがベッドに当たりやすいため、加湿ビンを無くし、加湿ビンは必要な時のみ取り付けるようにした。	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>平成23年1月7日付けで、(財)日本医療機能評価機構の病院機能評価 (ver.6) の認定 (一般病院) を受けている。(平成27年10月下旬に3rdG:Ver. 1.0を受審予定)</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>ホームページや院内掲示を通じて、患者さん及び外部へと診療実績 (クリニカル・インディケータ) をはじめとした情報を発信している。</p> <p>また、「学校法人兵庫医科大学広報」と「ここらいふ」の2誌を定期的に発行しており、連携病院に対しては送付による案内も行っている。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>安全管理体制の強化を図るとともに、医療の質向上を目指し、複数診療科の医師、看護師をはじめとしたメディカルスタッフ等多職種からなる医療チームを編成し、適切な患者ケアや総合的な患者管理等を行う医療チーム及び医療従事者の質向上を目的とする合計8つの医療チームを組織している。</p>	

(患者ケア等を目的とする)

- ・感染対策チーム (ICT) ・褥瘡対策チーム・栄養サポートチーム (NST) ・緩和ケアチーム
- ・呼吸ケアチーム (RST) ・精神科リエゾンチーム

(医療従事者の質向上を目的とする)

- ・エコーガイド下CVC挿入推進チーム・救命処置 (BLS・ALS) 推進チーム